

## 愛知学院大学が参画する共創チームが、IGアリーナ・中部電力・NTTドコモ主催の共創プログラム「IGNAS」に採択

愛知学院大学(愛知県日進市、学長:木村文輝)は、経営学部 塗木京太ゼミが参画する共創チームのプロジェクトが、IGアリーナ(運営会社:株式会社愛知国際アリーナ)、中部電力株式会社、株式会社NTTドコモが推進する共創プログラム「IGNAS」に採択されました。

本プロジェクトは、産学連携と地域活性化を掛け合わせた社会的意義の高い取り組みであり、IGアリーナ周辺エリアを実証フィールドとして、地域とアリーナをつなぐ新たな価値創出モデルの確立を目指すものです。

その中で愛知学院大学 経営学部 塗木京太ゼミは、「ポップアップショップの創出」をプロジェクトの具体解として位置づけ、企画から実装、当日の運営までを担います。

### 【プログラム参画の背景】

近年の不動産開発は、人口減少やライフスタイルの変化、建築費高騰を背景に、投資回収を優先した意思決定が主流となり、結果として類似した施設が増加しています。その多くは開業時をピークに来訪者が減少し、イベント時のみ賑わう一方、平常時には人の流れが生まれにくく、地域との関係性を十分に築けていないケースが見られます。

こうした課題は、アリーナなどの集客力の高い施設にも共通しており、一時的な経済効果を地域の日常的な利用や継続的な活動へとつなげる仕組みづくりが求められています。そのためには、運営主体だけでなく、地域の多様な担い手が関わり、施設と街の価値が継続的に更新されていく自走型の共創モデルへの転換が必要です。本プロジェクトでは、その担い手として学生が参画し、企画・運営の実践を通じて地域と継続的に関わることで、施設と街の価値が更新され続けるモデルの構築を目指します。

### 【共創チーム体制】

本プロジェクトは、「街づくり・不動産活用ギルド」に参画する企業・団体による共創チームで推進されます。

- station株式会社:プロジェクト全体統括、共創体制構築
- ZAI株式会社・日本福祉大学:環境配慮型空間設計
- Meetup株式会社:人流データ計測(顔認証技術)
- 一般社団法人フォーセット名古屋:地域連携・データ分析
- 愛知学院大学 経営学部 塗木ゼミ:ポップアップショップ企画、マーケティング、運営・広報

#### 「街づくり・不動産活用ギルド」共創PJ採択事例

#### IGアリーナ周辺地域を活性化する

#### 産・学・地域と連携した「循環型アリーナシティ共創プロジェクト」

##### 【課題】

アリーナの集客に対して周辺地域への波及効果が少ない



魅力の不可視:周辺に何があるか分からない  
接続点の欠如:地域へ誘導する仕組みが無い  
⇒結果的にイベント来場者は近隣地域ではなく繁華街に流出している。

##### 【プロジェクト概要】

可変型ポップアップ拠点の創出と人流データ分析



- ローカルプレーヤーDB:地域の担い手をDB化し、共創企画を動かせる土台を作る
- 可変型ポップアップ:興行に合わせて表情を切り替えられる、地域と繋がる拠点
- 人流データ計測:ユーザーアクション不要の顔認証システムによる再訪・回遊検証

##### 【共創チーム】

ギルドメンバーを中心とした産学連携体制

- station 全体統括・事業者間連携  
ローカルプレーヤー調査
- ×
- ZAI 端材活用で低コスト・  
環境配慮型の  
空間設計・設営
- 日本福祉大学
- ×
- Meetup 顔認証システムを  
活用した人流データ計測
- ×
- Faucet Nagoya 地域連携・データ分析
- ×
- 愛知学院大学 ポップアップ企画  
現場運営・広報支援

### 【塗木ゼミに期待される役割】

塗木ゼミ生は、共創チームに参画する各企業・団体と連携しながら、以下の役割を担います。

- ・ 出店企業・地域事業者と連携した**ポップアップショップの企画立案**
- ・ 来訪者視点に立った**マーケティング設計・アイデア創出**
- ・ データや検証結果を踏まえた**改善提案**
- ・ 実証期間中の**現地運営・来訪者対応**

これらを通じて、「イベント時だけに人が集まる場所」ではなく、日常的に人が訪れ、関係性が循環する**エリア形成**を目指します。

### 【塗木ゼミの強み】

塗木ゼミは、以下の点を高く評価され、本プロジェクトへの参画に至りました。

- ・ 名古屋市公認「SDGs推進プラットフォーム」の**ゼミ単位での唯一の会員**
- ・ サステナ経営検定 合格者数において**全国4位の実績**
- ・ AIを活用したアプリ開発など、**AIを実践的に活用する教育・研究を推進**
- ・ 学生主体で社会課題に向き合う**実行型・課題解決型教育の蓄積**

学生のフレッシュな発想力と、AI・SDGsに関する専門性を掛け合わせることで、企業・地域にとっても新たな視点と価値を提供することが期待されています。

塗木ゼミは本プロジェクトを通じて、学生が「学び手」ととどまらず、**地域共創の担い手**として価値創出に参画する**新たな産学連携モデルの実現**を目指してまいります。



<内容に関するお問合せ>

愛知学院大学 経営学部 塗木准教授

TEL: 052-911-1011 (代) E-mail: [nuruki@dpc.agu.ac.jp](mailto:nuruki@dpc.agu.ac.jp)

<取材に関するお問合せ>

愛知学院大学 総務部総務課 小川、古谷、寺倉

TEL: 0561-73-1111 (代) FAX: 0561-73-5889 E-mail: [somu@dpc.agu.ac.jp](mailto:somu@dpc.agu.ac.jp)